

10月9日は「トラックの日」

社団法人山梨県トラック協会(石原行彦会長)は、10月8日(月・祝)に甲斐市のラザウオーク甲斐双葉駐車場において、「トラックの日・山梨フェスタ2012」を開催した。当日は好天にも恵まれ、10時のオープン前から会場は来場者であふれ、終日にぎわった。

このイベントは、「トラックは生活(くらし)と経済のライフライン」を統一テーマとして全国的に展開される「10・9トラックの日」の取組として、国内物流の基幹産業であり、ライフラインを支えるトラック輸送の重要性をPRし、業界としての輸送の安全確保と交通・労災事故防止対策、環境保全への取組、緊急救援物資輸送体制の整備促進、加えて業界が抱える問題などについて、イベントを通じて理解を深めてもらうことを目的に開催された。

会場では、甲斐市敷島吹奏楽団の演奏を皮切りに、オープニングイベントが行われ、その後は、大抽選会や今話題のご当地アイドルのFUJI SAKURA塾ライブやサクライザーショーなど数々のイベントが行われ、最新型のハイブリッドトラックなどの展示・体験試乗のほか、トラック業界に関するクイズコーナーなども設け、一日中楽しめる内容となっていた。

また、同協会では地球規模で環境保全対策に取り組んでおり、誰にでもわかりやすい営業用トラック運送事業に係る環境標語を募集し、当日優秀者に賞状と記念品を贈呈した。

今年度の最優秀環境標語『絆と心を荷台にのせて 走れ！トラック 緑の道を』



あいさつする石原会長



多くの人でにぎわう会場